

# 埼群とともに復活した 黒岩満好が全SSを制覇



2位 長谷川篤 / 志河内洋文

「良くて6位かな」と思っていたらしいが、終わってみれば長谷川が2位。



優勝 黒岩満好 / 南宏治

「せっかく埼群戦が復活したので、できる限り出場したい」と話した黒岩。チャンピオン候補の一番手だろう。



6位 中沢貢 / 田村光治



7位 長谷部秀吾 / 福島茂郎



4位 宮下昌之 / 小林剛



3位 大辻孝昌 / 高橋誠



Cクラス表彰



5位 夏堀貴仁 / 佐藤美幸

優勝は、今回のラリーのためにエボ1でラリー車を製作した黒岩満好が手にした。が、スタート前は「ラリーに出るためのメンテナンスが忙しくて運転できなかったし、クルマの差があったので、どうかなと思っていた」と話す。終わってみれば4SSともベストタイムをマーク。ナビの南宏治もうまくまとめでの優勝。また2位にも「楽しい！ 順位が絡んでいるから余計に楽しい！」と楽しいを連発していた、昨年まで群馬のラリー部会長をつとめていた長谷川篤志が入るなど、ベテランたちの活躍が目立つ結果となった。

# ベテランナビが好アシスト 平野靖が大逆転優勝！

平野靖も埼群復活をにらんでクルマを探していたひとり。インターネットオークションで見つけたミラで出場。



優勝 平野靖 / マンガ



2位 近藤雅嗣 / 角田大輔



3位 今泉雅史 / 三木康弘

3台と寂しい出場台数となったが、ツイン、ミラ、アルトなど車種構成はバラエティに富んでいたAクラス。ラリーは「タナボタでもらったようなもの。ナビのおかげ」とゴール後に話した平野靖が優勝を。というのも、2CPで残りの2台がともに3クタ減点。これで優勝が転がり込む展開となったのだった。



Aクラス表彰

# 初表彰を優勝で手にした 荻野聡 / 岩井貴之組



3位 金子茂 / 止境一夫



4位 白上和男 / 下川晃一



5位 杉山正美 / 伊東美紀



6位 奥田雅弘 / 石井孝之介



優勝 荻野聡 / 若井貴之

「SSが2つのコースで設定されるなど、ラリー設定が工夫されていて良かった」と話した荻野聡が1秒差の接戦をものにして初優勝をゲット。

2位入賞はSSトータルではトップだった小田英明。次戦でのリベンジを誓っていた。

2位 小田英明 / 田巻明宏



Bクラス表彰



これまでは東京シリーズをメインに戦っていたという荻野聡だったが、仕事の関係で土曜日休むのが難しくなり、この1年はほとんどラリーに出場していなかった。しかし今回のラリーが日曜日のワンデーで開催と知り、群馬に遠征してきた。荻野は須賀尾ダートサーキットではベストタイムはとることができなかったが、しずか山特設SSでは同秒ながらベストタイムを出すなど好走を見せて、優勝を手にした。2位には初めてのクルマながら小田英明が入賞。また3位にはEP82ターボを駆った金子茂が入った。